

よいことのために
手を取りあおう

よいことのために手を取りあおう

UNITE FOR GOOD.

RI会長 フランチェスコ・アレツツォ 第2590地区ガバナー 大塚 正一

第2676例会 令和8年5月22日 2025-2026年度(第40号) 会報編集 宇野穣

司会 山内敏行 SAA
合唱 それこそロータリー(SL 福井会員)
会長挨拶 相澤史人会長



昨日ソシア21で明日に向かって2590セミナー(ロータリー研究会)にエレクトをはじめ地区各委員長7名と共に参加してまいりました。今回は2つのテーマについて勉強させていただきました。

1つは日本ウクライナとの国際共同委員会

(ICC)についてでした。これはロシア、ウクライナ戦争だからというのではなく、もともとは異文化交流を目的とした青少年交換が始まりということでした。世界では600を超えるICCがありますが、日本では昨年から参加するということです。2つ目はGREEN EXPO2027について露木地区実行委員長から楽しみ方を、柳沼地区実行委員からはロータリーが参画する意味を教えてくださいました。最後にJERLAN会長のお話をお聞きしましたが、とんでもない経歴の人でインターアクトと自然に優しい粘土作りで花博に参加するということでした。さて、皆さんは日ごろ気分転換や何かスカッとすることを行っていますでしょうか。本日は私の場合はということでお話させていただきます。それはバイクに乗ることなのですが、このバイク 1980年代の古いものでとても刺激的な乗り物なんです。古いものなのではじめは良くJAFのお世話になりました。外見は古いのですが

直すたびに最新の部品を入れていくと、現在のバイクと変わらないような走りができます。これによく箱根などの峠へ行っていましたが、峠での事故は大変なことになるので、飛ばすならサーキットに行こうと言うことになりまして、現在も年に数回通っております。こんなことあと何年できるのかと思っておりますが、とりあえず大事なものは腹筋、背筋、握力、これらが衰えないうちはしばらく続けてみようと思っております。

幹事報告 植田信哉直前幹事

皆さま、こんにちは。幹事報告させていただきます。

ガバナー事務所からの連絡

1.『茶の湯で紡ぐ平和の輪 ~三溪園お茶会 国際交流イベント~』の案内が届いています

日時: 6月7日(日) 14:00頃~

場所: 三溪園 白雲亭

2.『子ども食堂・こども宅食への政府備蓄米の交付について』が届いています。

3.『台北国際大会事前説明会資料送付の件』が届いています。

恵送を受けた週報 横浜旭 RC

祝行事 相澤史人会長

おめでとうございます

誕生記念 益田裕隆会員 5月16日

結婚記念 福井陽子会員 5月20日

出席報告 大谷高出席リーダー

会員総数	出席会員	欠席会員	今回出席率	前々回修正率
26名	22名	3名	88%	92.31%

第2590地区横浜瀬谷ロータリークラブ 2025~2026

会長	相澤 史人	会長エレクト	相澤 隆二	【例会場】	横浜市瀬谷区ニツ橋町309-1
幹事	鈴木 典子	会報委員長	宇野 穣		(eモール2F 会議室)
例会日	毎週金曜日			【事務所】	横浜市瀬谷区ニツ橋町309-1
点鐘	12時30分				(eモール2F)



ニコニコ BOX 佐々木洋一親睦活動リーダー
益田裕隆会員 51才です。よろしくお願ひします。
以上。

福井陽子会員 結婚記念のお祝ひありがとうございます。出張から帰る途中に落ち込むことがあり、帰宅して泣いていたら、お花が届き嬉しかったです。感情が忙しい一日でした。ありがとうございます。

ニコニコ会計報告

ニコニコ 2 件 9,000 円 累計 3,036,605 円

委員会報告

地区補助金委員会 森本潔委員

次年度の地区補助金の審査が終わり、申請された補助金すべてが通りました。

青少年奉仕委員会 依田紀久子リーダー

本日、横浜隼人 IAC の例会がございます。ご出席いただける方はよろしくお願ひいたします。

露木雄二会員

大分の日田中央 RC 創立 50 周年記念式典、石川の能美 RC 例会に行つてまいりました。どちらのクラブも奉仕活動が盛んで、瀬谷 RC も 60 周年に向けて奉仕活動を行えたらと思ひました。何かアイデアがありましたら、よろしくお願ひします。

会員卓話 真船禎紀会員



本日は、このようなイニシエーションスピーチの機会をいただきありがとうございます。

私の名前は「真実」の真に船と書いて、「まふね」と読みます。これは夫の姓で、福島県白河郡西郷村が発祥の苗字だそうです。また、

「禎紀」の“禎”には「幸せ」「神様からの贈り物」という意味があり、“紀”は母の名前から一文字もらいました。趣味は読書とイタリア語です。

家族は、父、母、私、夫がおります。実家では黒色のチワワ（葉ちゃん）を飼つております。

私は中学時代、剣道部に所属し、初段を取得しました。その後、高校時代に映画『陰陽師』を観たことをきっかけに平安時代へ興味を持ち、東海大学文学部日本文学科へ進学しました。大学では『古典文学研究会』に所属し、大学祭では十二単や狩衣の着付け体験を行っていました。

そんな私がイタリアに興味を持つようになった背景には両親の存在があります。私の「サキ」という名前には、「海外の方でも呼びやすいように」という意味も込められているそうです。一方で、私は英語に苦手意識があり、自分は海外に向いていないと思っていました。しかし、不思議とイタリアには強く惹かれ、特にヴェネツィアの街並みに憧れていました。

就職後、仕事や人間関係に悩んでいた時、母から「人生は一度しかない。三年後、同じ会社にいるも悩みは変わらないかもしれない。でもイタリアへ留学した三年後なら、きっと違う人生になっていると思うよ」と言われ、その言葉に背中を押されて留学を決意しました。

最初はヴェネツィア、その後パドヴァという大都市で約二年半生活しました。世界各国の人々と出会い、日本との価値観の違いや、日本の良さを改めて実感しました。

特に印象的だったのは、『滞在許可証』を受け取った時の経験です。発行まで一年以上かかり、帰国直前になってようやく通知が届きました。予約も取れず困っていましたが、「自分の気持ちを伝えよう」と決意し、警察署で必死にイタリア語で事情を説明しました。すると職員の方が親切に対応してくださり、無事に受け取ることができました。その時、「イタリア語を学んできて良かった」と心から感じました。

そして昨年、ロータリー研究会のため RI 会長ご夫妻来日の際には、送迎チームの一員として関わらせていただき、さらに会長夫人のスピーチの同時通訳も担当しました。自分の学びが誰かの役に立ったことを、とても嬉しく思いました。

イタリアで学んだことは、「自信がなくても自分の意思を伝えること」、そして「自ら行動することで未来は変わる」ということです。

これからもロータリー活動を通じ、多くの出会いを大切にしながら成長していきたいと思っております。

Grazie mille per avermi ascoltato! (ご清聴いただき誠にありがとうございました。)